

Regenagri 認証の概要と 認証プロセス (アパレル分野)

株式会社Control Union Japan

Managing Director : 大村次郎

2025年12月16日

Agenda

- 会社概要
- regenagri 認証について
- 農場基準と審査方法
- Regenagri SC/CoC基準
- サプライチェーン基準
- お申込から認証取得のプロセス



本社：ロッテルダム（オランダ）



Established in Rotterdam

1920年創業



世界80カ国+

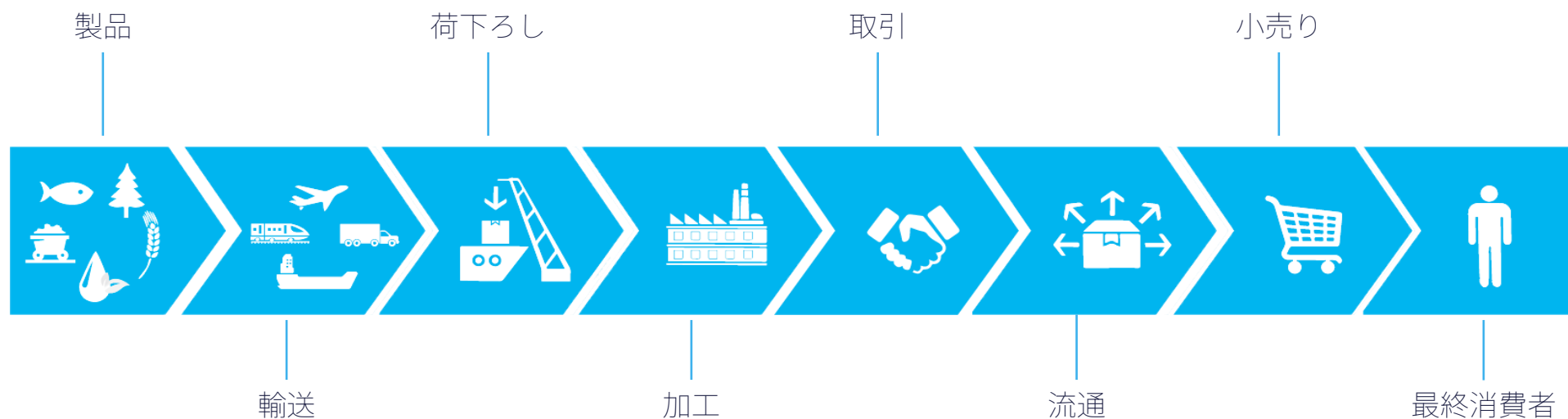


船積検査からスタート
様々な領域へ事業拡大



総従業員数7000人+

サプライチェーン全体を通じたサポートとサービス



株式会社 **Control Union Japan**

日本法人本社（**2009**年設立）

東京都千代田区西神田**2-4-16**

レ・ジェイドクロス千代田神保町 **2F**

主な事業内容：第三者認証サービス
（バイオマス、繊維、食品、森林、ツーリズム等）

神戸支所（**2023**年開設）

神戸市東灘区向洋町中**1-17**

主な事業内容：分析、検査、第三者認証サービス
（バイオマス発電に使用される燃料等）

日本オフィス取扱いの認証プログラム（一部抜粋）

テキスタイル



バイオ燃料 & バイオマス

水産養殖 & 漁業

パームオイル

ツーリズム

農業生産工程管理

森林管理

認証の全体像

基準保有団体



承認

- ・基準の制定
- ・システムの構築
- ・基準の運用



認定機関

第三者認証機関に対し
審査を行うに足る能力が
あるかを審査し認定を行う

審査・認定



第三者認証機関

- ・認定機関からの認定の取得が前提
- ・受審組織の運用が基準に準拠しているかを審査
- ※基準への適合性の公正な審査が役割
- ※運用方法を説明する機関ではありません

審査・認証

受審者/認証取得者



信頼



消費者

regenagri 認証



regenagri認証とは？

- 土地の健全性とそこに暮らす人々の豊かさを確保するための国際的な再生型農業認証プログラム
- 土壌、気候、植物のエコシステムに基づく原則

土壌

微生物、栄養素、有機物、土壌の健全性

植物

生物多様性、植物の害虫管理、循環栽培

気候

水資源、炭素隔離



2,229,347 hectares of land
under regenagri

+330,000 farms
under regenagri

CoC取得企業数

GLOBAL

+1136

ASIA

+749

regenagri認証の特徴

- 農場・サプライチェーン（加工・流通・販売）両社に独自の**regenagri**基準が適用
- 既存の有機農業（ゼロトレランス）と持続可能性のギャップを補う
- 農業の経済的実現性を維持・向上するための基準と審査手法
- 認証範囲はコットンのみではない
 - ✓ 耕作作物（穀物、豆類、繊維作物、飼料作物、雑穀類）
 - ✓ 果実（果樹、茶、コーヒー、カカオ、ナッツ類などの多年生作物）
 - ✓ ソフトフルーツ（野菜およびその他の短期作物）
 - ✓ 畜産（乳用および肉用）




Regenagri 農業基準 審査方法

 regenagri 基準に基づいての審査

 3 年の審査サイクル

 最低65%をラインとする評価

 次年度以降の審査での最低限の改善基準の準拠が必要

継続的な改善

 前年度のスコアに基づく改善手法の特定

 改善の測定とモニタリング

審査結果 (ベースライン)	年次改善	改善サイクル
65% - 69%	6%	16%
70% - 74%	6%	14%
75% - 79%	4%	12%
80% 84%	4%	10%
85% - 89%	2%	6%
90% - 94%	2%	4%
95% and over	0%	0%

Regenagri SC/CoC基準

-Textile- サプライチェーン向け基準



Regenagri 基準書

 サプライチェーン向け基準ではトレーサビリティ・認証製品の含有率・クレーム使用条件を保証

	Regenagri Standard -Farms v3.3	Content Standard v3.2	Chain of Custody Standard-Textile v1.2	Chain of Custody Standard-Food v2.2
対象の範囲	Regenagri農場	ブランド サプライヤー	サプライヤー (繊維/食品製品加工・流通業者)	
目的	環境再生型農業実績の 評価&認証	認証製品の表示・ クレームの適正化	認証繊維/食料原料のトレーサビリティ確保	
役割	土壌・生態系・社会的 側面の改善を保証	認証表示の ルールを定義	サプライチェーンでの 認証原料の分別・追跡を保証	
主な内容	土壌健康 炭素隔離 生物多様性 水管理 労働条件	含有率基準 クレーム使用条件 TC発行要件	ロット管理 識別管理 記録保持	

Chain of Custody Standard (CoC基準)要求項目



トレーサビリティ

- ・ 在庫チェック/入出荷書類詳細
- ・ トレーサビリティレポート
- ・ マスバランスレポート

商品の取扱

- ・ 分離
- ・ 識別 & 追跡
- ・ 清掃

管理システム

- ・ regenagri基準の管理責任
- ・ 作業手順書/SOP
- ・ 基準周知トレーニング

ラベリング

- ・ ロゴラベリング承認

審査時のチェック項目例

トレーサビリティ -Traceability-

認証済み材料を原料から最終製品まで追跡するシステム。
材料の同一性・分離管理・文書化コンプライアンスの確保が可能。

✓ 入庫管理と記録

- 認証済み原材料の確認
(購入の記録、取引証明書 (TC)、輸送記録)

✓ 生産工程管理

- 作業指示書・移動時の輸送記録・バッチログ確認

✓ 出荷記録と管理

- 最終製品と投入データの照合
- トレーサビリティの種類 (IP、MB等) 確認

✓ 取引証明書 (TC: Transaction Certificate) 発行

- 認証品出荷時TC発行が必須

数量照合 -Volume Reconciliation-

生産過程における損失を考慮した後生産された認証材料の量(生産量)が
受領した認証材料の量(投入量)を超えないことを保証するプロセス。

✓ 要件

- 認証生産量 \leq 認証投入量 - 生産ロス

✓ 主な考慮事項

- 取引証明書 (TC) による全投入量の追跡
- 実際の生産ロスの記録
- 製品毎・ロット毎の照合が必須

✓ 計算式

- 認証投入量 - 生産損失 = 認証生産量

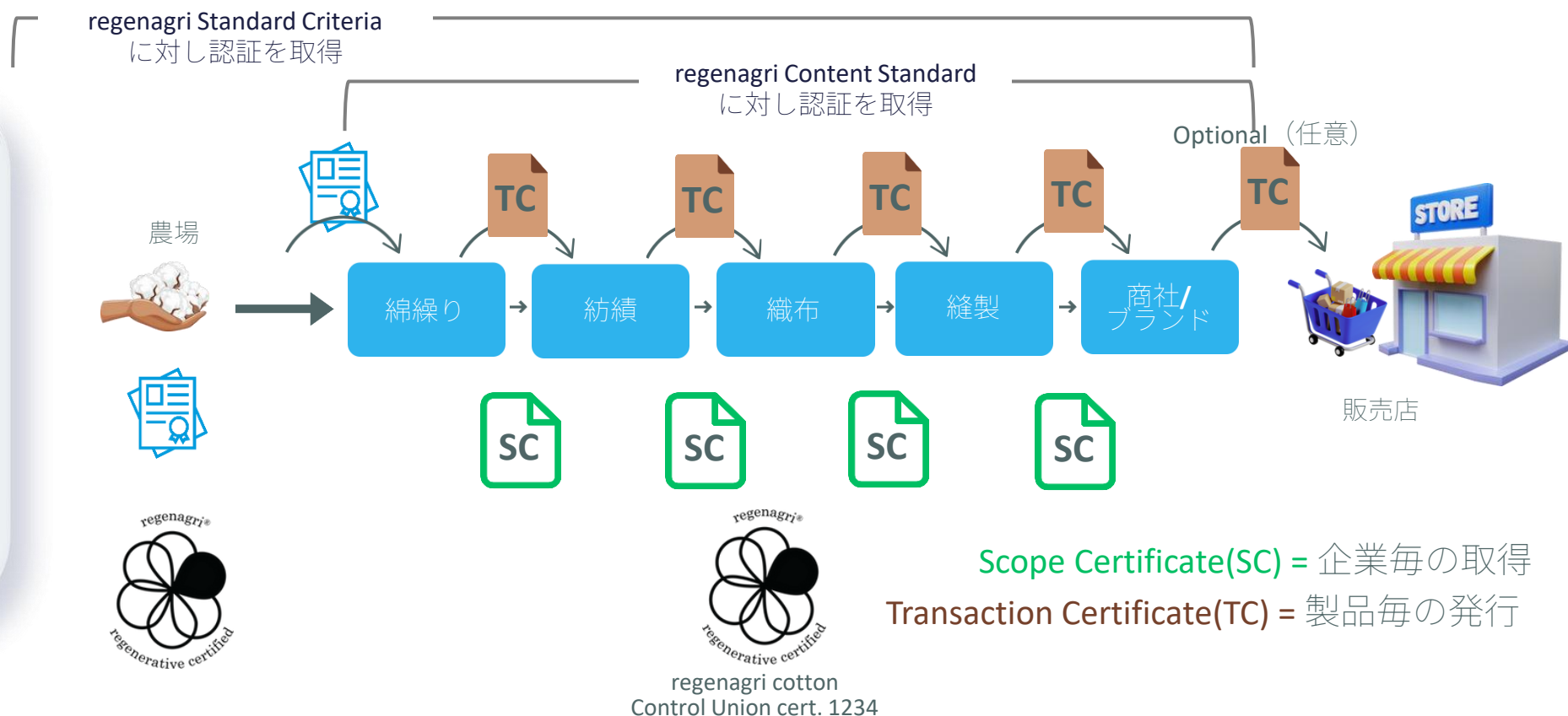
✓ システム要件

- 投入から最終製品までの資材フローの文書化
- 各生産物と紐づく投入ロットの明確

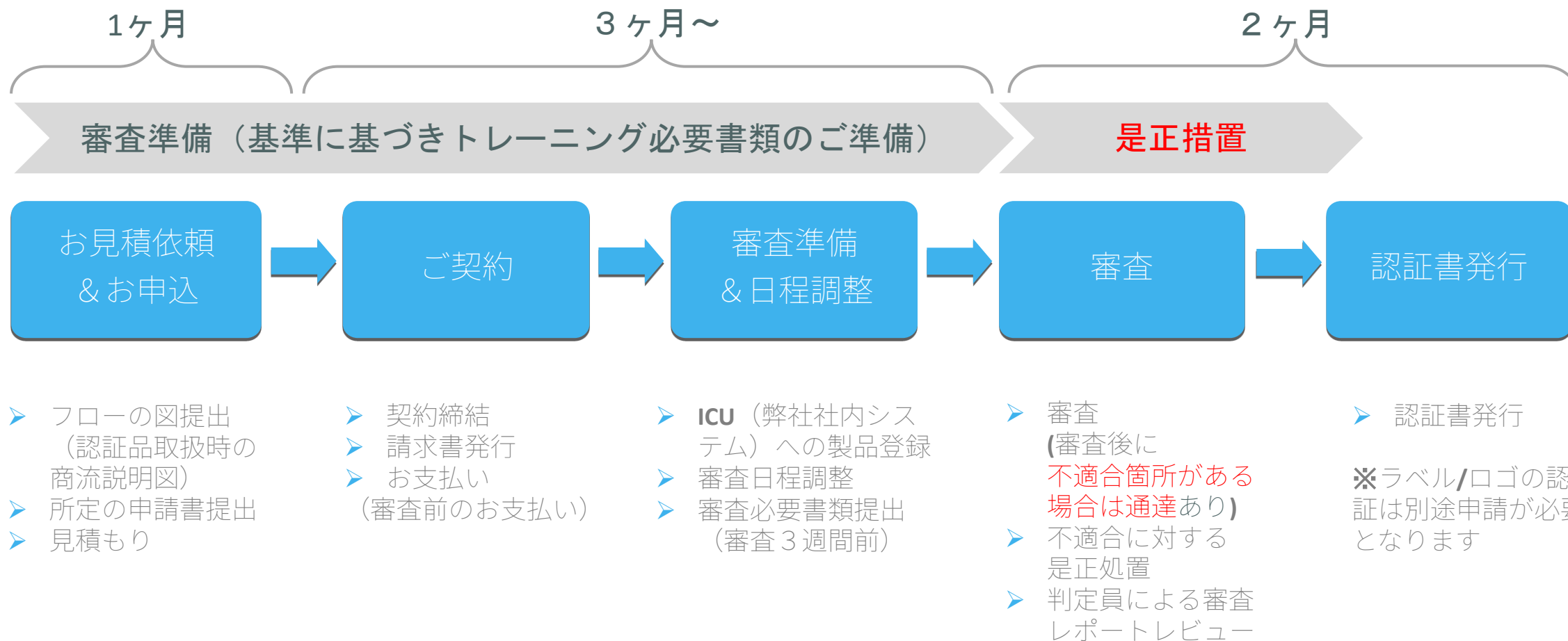
認証の取得とTC

CHAIN OF CUSTODY の原則

- Identification—識別
- Segregation—分離
- Volume reconciliation—数量照合



お申込から認証取得のプロセス



regenagri認証原料/製品登録、在庫、TC申請等は
ICUと呼ばれる弊社社内システムにて管理します。

日本において regenagri認証の取得意義

- 環境再生型農家の生計をサポート
- 国際的なサステナビリティ基準への対応
- ESG・脱炭素戦略の実現
- ブランド価値と消費者信頼の向上
- 市場アクセスの確保



THANK YOU

株式会社 Control Union Japan

住所：東京都千代田区西神田2-4-16
レ・ジェイドクロス千代田神保町 2F

担当：佐田(msata@controlunion.com)

For more information,
please visit our website.

